

別 紙 「生産性向上の取組について」

年度	系統名	広域行政区画名	中心市町村名	起点	経由地	終点	令和7年度計画内容 (当初)	【中間点検】令和7年度計画内容 (原則、令和7年3月末時点)	令和8年度計画内容				備考						
							生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る 定量的効果目標	生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	効果目標の達成状況	備考	生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期		生産性向上の取組に係る 定量的効果目標	令和6年度の 収支率（実績値）	中間点検時点 (原則、令和7年3月末時点)での 収支率	令和8年度計画の 収支率		
R8	1	岩見沢美瑛線	南空知ふるさと市町村圏	岩見沢市	岩見沢T	峠延	美瑛駅前	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、美瑛市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 10,359千円 ・経常費用 28,442千円 ・経常収支 ▲18,083千円 ・収支率 36.4% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 10,637千円（約278千円増加） ・経常費用 28,442千円（増減なし） ・経常収支 ▲17,805千円 ・収支率 37.4%（収支改善率1.0%）	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、美瑛市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【R7見込み】 ・経常収益 11,337千円 ・経常費用 27,708千円 ・経常収支 ▲16,371千円 ・収支率 40.9%		〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、美瑛市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 10,048千円 ・経常費用 30,270千円 ・経常収支 ▲20,222千円 ・収支率 33.1% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 10,322千円（約274千円増加） ・経常費用 30,270千円（増減なし） ・経常収支 ▲19,948千円 ・収支率 34.1%（収支改善率1.0%）	33.1%	40.9%	34.1%		
R8	2	岩見沢長沼線	南空知ふるさと市町村圏	岩見沢市	岩見沢T	栗山駅	長沼T	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、由仁町、長沼町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 21,026千円 ・経常費用 63,369千円 ・経常収支 ▲42,343千円 ・収支率 33.1% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 21,609千円（約583円増加） ・経常費用 63,369千円（増減なし） ・経常収支 ▲41,760千円 ・収支率 34.1%（収支改善率1.0%）	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、由仁町、長沼町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【R7見込み】 ・経常収益 20,080千円 ・経常費用 56,931千円 ・経常収支 ▲36,851千円 ・収支率 35.2%		〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、由仁町、長沼町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 20,350千円 ・経常費用 63,487千円 ・経常収支 ▲43,137千円 ・収支率 32.0% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 20,951千円（約601千円増加） ・経常費用 63,487千円（増減なし） ・経常収支 ▲42,536千円 ・収支率 33.0%（収支改善率1.0%）	32.0%	34.6%	33.0%		
R8	3	岩見沢栗山線	南空知ふるさと市町村圏	岩見沢市	岩見沢T	教大前	栗山駅	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 13,257千円 ・経常費用 40,376千円 ・経常収支 ▲27,119千円 ・収支率 42.8% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 13,647千円（約390千円増加） ・経常費用 40,376千円（増減なし） ・経常収支 ▲26,729千円 ・収支率 33.8%（収支改善率1.0%）	〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【R7見込み】 ・経常収益 11,047千円 ・経常費用 56,931千円 ・経常収支 ▲45,884千円 ・収支率 35.7%		〔路線再編〕 ・利用実態を調査分析し、収支改善に向けた路線の合理化について検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 11,388千円 ・経常費用 35,320千円 ・経常収支 ▲23,932千円 ・収支率 32.1% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 11,691千円（約332千円増加） ・経常費用 35,320千円（増減なし） ・経常収支 ▲23,629千円 ・収支率 33.1%（収支改善率1.0%）	32.1%	35.4%	33.1%		
R8	4	札幌・栗山線	南空知ふるさと市町村圏 札幌ふるさと市町村圏	札幌市	札幌駅前T	南幌町立病院	栗山駅	〔路線再編・混雑化〕 ・札幌・夕張線と札幌・栗山線の集約を中心とした合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、南幌町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス）	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 47,554千円 ・経常費用 106,235千円 ・経常収支 ▲58,681千円 ・収支率 44.7% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 48,550千円（約995千円増加） ・経常費用 106,235千円（増減なし） ・経常収支 ▲57,685千円 ・収支率 45.7%（収支改善率1.0%）	〔路線再編・混雑化〕 ・札幌・夕張線と札幌・栗山線の集約を中心とした合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、南幌町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス）	【R7見込み】 ・経常収益 39,244千円 ・経常費用 99,316千円 ・経常収支 ▲60,072千円 ・収支率 39.5%		〔路線再編・混雑化〕 ・札幌・夕張線と札幌・栗山線の集約を中心とした合理化を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、栗山町、南幌町） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス）	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 35,020千円 ・経常費用 114,157千円 ・経常収支 ▲79,137千円 ・収支率 47.0% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 34,795千円（約415千円増加） ・経常費用 114,157千円（増減なし） ・経常収支 ▲79,362千円 ・収支率 48.0%（収支改善率1.0%）	47.0%	37.5%	48.0%		
R8	5	三笠線	南空知ふるさと市町村圏	岩見沢市	岩見沢T	イオン三笠店南口	南幌町三笠駅前	〔路線再編〕 ・利用実態を調査・分析し、実態に即した運行回数、運行時刻の調整を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、三笠市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 60,204千円 ・経常費用 96,121千円 ・経常収支 ▲35,917千円 ・収支率 62.6% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 61,133千円（約929千円増加） ・経常費用 96,121千円（増減なし） ・経常収支 ▲34,988千円 ・収支率 63.6%（収支改善率1.0%）	〔路線再編〕 ・利用実態を調査・分析し、実態に即した運行回数、運行時刻の調整を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、三笠市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【R7見込み】 ・経常収益 46,527千円 ・経常費用 71,954千円 ・経常収支 ▲25,427千円 ・収支率 64.6%		〔路線再編〕 ・利用実態を調査・分析し、実態に即した運行回数、運行時刻の調整を検討する。（取組主体：北海道中央バス、岩見沢市、三笠市） 〔利用促進〕 ・ホームページで運行時刻や運行状況等の情報発信を図る。（取組主体：北海道中央バス） ・バスの乗り方教室の実施や広報誌を通じた啓蒙活動を実施する。	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 54,211千円 ・経常費用 95,354千円 ・経常収支 ▲41,143千円 ・収支率 56.8% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 55,115千円（約904千円増加） ・経常費用 95,354千円（増減なし） ・経常収支 ▲40,239千円 ・収支率 57.8%（収支改善率1.0%）	56.8%	65.2%	57.8%		
R8	6	札幌代行線①	南空知ふるさと市町村圏 札幌ふるさと市町村圏	札幌市	南幌東町	上江別西町、藤原橋内	新札幌駅前T	〔路線再編〕 ・利用状況等を考え検討していきたい。（取組主体：江別市、南幌町、夕鉄バス） 〔利用促進〕 ・自社ホームページでの時刻、料金、運行状況等の情報を随時更新し掲載している。今後も自社ホームページ内容等の充実を図る。（取組主体：夕鉄バス）	【基準年：令和6年3月末時点】 ・経常収益 38,362,458円 ・経常費用 64,815,918円 ・経常収支 ▲26,453,460円 ・収支率 59.2% 【取組目標年：令和7年補助年度】 ・経常収益 38,954,367円（約591千円増加） ・経常費用 64,815,918円（増減なし） ・経常収支 ▲25,861,551円 ・収支率 60.1%（収支改善率1.0%）	〔路線再編〕 ・利用状況等を調査し、運行回数等を検討する。（取組主体：夕鉄バス、江別市、南幌町） 〔利用促進〕 ・自社ホームページでの時刻、料金、運行状況等の情報を随時更新している。今後も自社ホームページ内容等の充実を図る。（取組主体：夕鉄バス）	【基準年：令和6補助年度】 ・経常収益 50,168千円 ・経常費用 121,541千円 ・収支率 41.2% ・経常収支 ▲71,373千円 【取組目標年：令和7補助年度】 ・計上収益 50,670千円（502千円増加） ・経常費用 121,541千円（増減なし） ・経常収支 ▲70,871千円 ・収支率 41.7%（収支改善率1.0%）		〔路線再編〕 ・主系統、その他系統の便数削減を検討する。（取組主体：夕鉄バス、江別市、南幌町） 〔利用促進〕 ・関係自治体と連携しながら、利用促進を検討していく。（取組主体：夕鉄バス、江別市、南幌町）	【基準年：令和7年3月末時点】 ・経常収益 41,572千円 ・経常費用 81,044千円 ・経常収支 ▲39,472千円 ・収支率 51.2% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 41,987千円（約415千円増加） ・経常費用 81,044千円（増減なし） ・経常収支 ▲39,057千円 ・収支率 51.8%（収支改善率1.0%）	41.2%	41.7%	42.2%		
R8	7	長沼線	南空知ふるさと市町村圏 札幌ふるさと市町村圏	札幌市	大谷地T・T1	北の里	南幌T・T1・B	〔路線再編〕 ・利用状況およびニーズの把握に努め、引き続き検討する。（ダイヤ設定） ・鉄道との接続改善による利便性向上。 〔利用促進〕 ・自治体の発行する広報誌面等を活用した公共交通のPR。 ・バスの乗り方教室などを通じ、公共交通への理解を促す活動の実施。 ・バスロケーションシステムを活用し、運行情報など利用者への情報提供に努め利便性向上を図る。 ・運転免許返納者に対する運賃助成事業の継続実施（北広島市）	左記の取り組みによる利用増を見込む。 【基準年：令和6年3月末時点】 ・経常収益 10,589,155円 ・経常費用 22,946,226円 ・収支 ▲12,357,071円 ・収支率 46.1% 【取組目標年：令和7年補助年度】 ・経常収益 15,283,235円 ・経常費用 34,183,418円 ・経常収支 ▲18,900,179円 ・収支率 44.7%	〔路線再編〕 ・利用状況およびニーズの把握に努め、引き続き検討する。（ダイヤ設定） ・鉄道との接続改善による利便性向上。 〔利用促進〕 ・自治体の発行する広報誌面等を活用した公共交通のPR。 ・バスの乗り方教室などを通じ、公共交通への理解を促す活動の実施。 ・バスロケーションシステムを活用し、運行情報など利用者への情報提供に努め利便性向上を図る。 ・運転免許返納者に対する運賃助成事業の継続実施（北広島市）	【R07見込額】 R07.3現在 ・経常収益 10,299,159円 ・経常費用 22,808,204円 ・収支 ▲12,509,045円 ・収支率 45.2%		〔路線再編〕 ・利用状況およびニーズの把握に努め、引き続き検討する。（ダイヤ設定） ・鉄道との接続改善による利便性向上。 〔利用促進〕 ・自治体の発行する広報誌面等を活用した公共交通のPR。 ・バスの乗り方教室などを通じ、公共交通への理解を促す活動の実施。 ・バスロケーションシステムを活用し、運行情報など利用者への情報提供に努め利便性向上を図る。 ・運転免許返納者に対する運賃助成事業の継続実施（北広島市）	左記の取り組みによる利用増を見込む。 【R07見込額】 R07.3現在 ・経常収益 10,299,159円 ・経常費用 22,808,204円 ・収支 ▲12,509,045円 ・収支率 45.2% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 16,370,719円 ・経常費用 33,931,238円 ・経常収支 ▲17,560,519円 ・収支率 49.9%	42.6%	45.2%	49.9%		
R8	8	北新線	南空知ふるさと市町村圏 札幌ふるさと市町村圏	岩見沢市	しんじのつ温泉たつふの湯	新穂津小学校 新穂津村役場	岩見沢駅前T	利用促進 ・ダイヤの見直し 利用状況を分析し利便性が高く、効率的なダイヤ作成に取り組む。 ・自社ホームページ、商工会ホームページ、役場広報など活用してバス利用の促進につなげる。	・通学、通勤、通院の利便性を高めることにより利用人員の増加を見込む。 【基準年：令和6年3月末時点】 ・経常収益 6,632円 ・経常費用 17,184円 ・経常収支 ▲10,552円 ・収支率 38.59% 【取組目標年：令和7補助年度】 ・経常収益 13,750円（約688千円増加） ・経常費用 34,368円（増減なし） ・経常収支 ▲20,618円 ・収支率 40.01%（収支改善率1.41%）	利用促進 ①古い車両を低床車両へ入替実施 ②自治体が運転免許返納者へ発行している公共交通利用券の使用協力を継続している。 ③ダイヤ見直しは一部実施。	令和7年3月時点実績 ・経常収益 6,936千円 ・経常費用 16,835千円 ・経常収支 ▲9,899千円 ・収支率 41.02%（収支改善率1.01%）	令和7年3月末 試算値 ・経常収益 6,936千円 ・経常費用 16,835千円 ・経常収支 ▲9,899千円 ・収支率 41.02%（収支改善率1.01%）		ダイヤの見直し 利用状況を分析し利便性が高く、効率的なダイヤ作成に取り組む。 ・自社ホームページ、商工会ホームページ、役場広報など活用してバス利用の促進につなげる。	・通学、通勤、通院の利便性を高めることにより利用人員の増加を見込む。 【基準年：令和7年3月末時点】 ・経常収益 6,936千円 ・経常費用 16,835千円 ・経常収支 ▲9,899千円 ・収支率 41.02% 【取組目標年：令和8補助年度】 ・経常収益 14,300千円（約734千円増加） ・経常費用 33,670千円（増減なし） ・経常収支 ▲19,370千円 ・収支率 42.47%（収支改善率1.45%）	37.6%	41.0%	42.5%	

年度	系統名	広域行政圏名	中心市町村名	起点	経由地	終点	令和7年度計画内容 (当初)	【中間点検】令和7年度計画内容 (原則、令和7年3月末時点)	令和8年度計画内容				備考					
							生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	生産性向上の取組に係る 定量的な効果目標	生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期	効果目標の達成状況	備考	生産性向上の取組に係る 取組内容、実施主体、実施時期		生産性向上の取組に係る 定量的な効果目標	令和6年度の 収支率（実績値）	中間点検時点 （原則、令和7年3月末時点）での 収支率	令和8年度計画の 収支率	
R8	9	月形当別線	南空知ふるさと市町村圏	当別町	月形駅	JR北海道医療大学駅	JR当別駅南口	(利用促進) ○バス事業者のホームページによる周知のほか、沿線町の広報誌やホームページ等を活用する。また、高齢者等への講座など、啓発活動を実施する。 ・月形町では、バスマップを広く住民に配布し、利用促進を図る。当別町では、時刻表の配布や町民を対象にしたモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通の利用促進を図る。（取組主体：月形町、当別町） ・沿線企業等の従業員が利用しやすい運行ダイヤ等を検討し、定期利用者の利用を促進する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (輸送手段の適合性) ○沿線町とバス事業者で協議を行い、利用者数を把握し、適切な輸送手段を検討する。 ・バス事業者において、利用者数を把握しながら、沿線町とバス事業者で長期的観点で検討していく。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (路線再編) ・乗降データから利用実態を3者（下段モータース、月形町、当別町）で共有・把握し、適切な運行ルートを検討する。 (その他) ○JRダイヤ改正を踏まえて乗継に配慮した運行時間を検討する。 ・沿線町、バス事業者で協議を行い、JRダイヤ改正に合わせて運行ダイヤの見直しを行う。特に平日朝及び夕方方の利用が多いことなどの住民の利用状況を踏まえた上で検討を行う。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど） ○路線バスの優位性である、利用者ニーズに合わせたバス停の柔軟な設置やダイヤモンドなどを随時検討する。住民の利用状況や要望を踏まえた上で、沿線町、バス事業者で協議を行い検討する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど）	高齢者等への啓発活動、適切な輸送手段の協議、乗り継ぎに配慮したバスダイヤ、利用しやすい協議運賃の設定により利用者数の増加や収益増を見込む。 利用者 14,551人/年(令和6補助年度実績) 目標増加人数 約2100人(15%増) 収入増加額 420,000円(2100人×200円) 収支改善率 1%改善 上記の取組により 収入増加額 420,000円 経常収入 4,293,573円(3,873,573円+420,000円) 経常費用 37,167,533円 経常収支率 11.6%(取組前10.4%) ※令和5補助年度実績 経常収入 3,873,573円 経常費用 37,167,533円 経常収支 ▲33,293,960円 経常収支率 10.4%	(利用促進) ○バス事業者のホームページによる周知のほか、沿線町の広報誌やホームページ等を活用する。また、高齢者等への講座など、啓発活動を実施する。 ・月形町では、バスマップを広く住民に配布し、利用促進を図る。当別町では、時刻表の配布や町民を対象にしたモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通の利用促進を図る。月形町及び当別町では、通学定期券の助成制度を導入する。（取組主体：月形町、当別町） ・沿線企業等の従業員が利用しやすい運行ダイヤ等を検討し、定期利用者の利用を促進する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (輸送手段の適合性) ○沿線町とバス事業者で協議を行い、利用者数を把握し、適切な輸送手段を検討する。 ・バス事業者において、利用者数を把握しながら、沿線町とバス事業者で長期的観点で検討していく。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (路線再編) ・乗降データから利用実態を3者（下段モータース、月形町、当別町）で共有・把握し、適切な運行ルートを検討する。 (その他) ○JRダイヤ改正を踏まえて乗継に配慮した運行時間を検討する。 ・沿線町、バス事業者で協議を行い、JRダイヤ改正に合わせて運行ダイヤの見直しを行う。特に平日朝及び夕方方の利用が多いことなどの住民の利用状況を踏まえた上で検討を行う。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど） ○路線バスの優位性である、利用者ニーズに合わせたバス停の柔軟な設置やダイヤモンドなどを随時検討する。住民の利用状況や要望を踏まえた上で、沿線町、バス事業者で協議を行い検討する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど）	・月形当別線 利用者数 7,531人(R04.04～R04.09) 利用者数 6,867人(R04.10～R05.03) 利用者数 7,684人(R05.04～R05.09) 利用者数 7,118人(R05.10～R06.03) 利用者数 7,001人(R06.04～R06.09) 利用者数 7,254人(R06.10～R07.03) ※(R6.10～R7.3実績) 計上収益 1,861,980円 計上費用 17,862,407円 経常収支 ▲16,000,427円 収支率 10.4% ※令和6補助年度実績 経常収益 3,654,525円 経常費用 35,868,297円 経常収支 ▲32,213,762円 収支率 10.2% 【達成状況(R06.10～R07.3)】 経常収益 1,861,980円(年間目標の48.3%) (1,861,980/4,293,573) 経常費用 17,862,407円(年間目標の48.0%) (17,862,407/37,167,533) 収支率 10.4%(目標値は11.6%)		(利用促進) ○バス事業者のホームページによる周知のほか、沿線町の広報誌やホームページ等を活用する。また、高齢者等への講座など、啓発活動を実施する。 ・月形町では、バスマップを広く住民に配布し、利用促進を図る。当別町では、時刻表の配布や町民を対象にしたモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通の利用促進を図る。月形町及び当別町では、通学定期券の助成制度を導入する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (輸送手段の適合性) ○沿線町とバス事業者で協議を行い、利用者数を把握し、適切な輸送手段を検討する。 ・バス事業者において、利用者数を把握しながら、沿線町とバス事業者で長期的観点で検討していく。（取組主体：月形町、当別町、下段モータース） (路線再編) ・乗降データから利用実態を3者（下段モータース、月形町、当別町）で共有・把握し、適切な運行ルートを検討する。 (その他) ○JRダイヤ改正を踏まえて乗継に配慮した運行時間を検討する。 ・沿線町、バス事業者で協議を行い、JRダイヤ改正に合わせて運行ダイヤの見直しを行う。特に平日朝及び夕方方の利用が多いことなどの住民の利用状況を踏まえた上で検討を行う。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど） ○路線バスの優位性である、利用者ニーズに合わせたバス停の柔軟な設置やダイヤモンドなどを随時検討する。住民の利用状況や要望を踏まえた上で、沿線町、バス事業者で協議を行い検討する。（取組主体：月形町、当別町、下段モータースなど）	高齢者等への啓発活動、適切な輸送手段の協議、乗り継ぎに配慮したバスダイヤ、利用しやすい協議運賃の設定により利用者数の増加や収益増を見込む。 利用者 14,119人/年(令和6補助年度実績) 目標増加人数 約5100人(36%増) 収入増加額 1,020,000円(5100人×200円) 収支改善率 3%改善 上記の取組により 収入増加額 1,020,000円 経常収入 4,674,525円(3,654,525円+1,020,000円) 経常費用 35,868,287円 経常収支率 13.0%(取組前10.2%) ※令和6補助年度実績 経常収入 3,654,525円 経常費用 35,868,287円 経常収支 ▲32,213,762円 経常収支率 10.2%	10.2%	10.4%	13.0%	
R8	10	岩見沢月形線	南空知ふるさと市町村圏	岩見沢市	月形駅前	北村温泉	岩見沢ターミナル						(利用促進) ・バス事業者のホームページによる周知のほか、沿線市町の広報誌やホームページ等を活用する。また高齢者等への講座など、啓発活動を実施する。 ・バスマップや時刻表を広く住民に配布し利用促進を図る。 ・バスロケーションシステムを使い、アプリで待時間等の把握などの利便性を高める。 ・利用促進を図る。 ・岩見沢ターミナルを使用し、他のバスやJRへの乗り継ぎの利便性を高め、利用促進を図る。 (輸送手段の適合性) ・沿線市町とバス事業者で協議を行い、利用者数を把握し、適切な輸送手段を検討する。 ・バス事業者において、利用者数を把握しながら、沿線市町とバス事業者で長期的観点で検討していく。 (取組主体：月形町、岩見沢市、アオヤナギ観光バス) (路線再編) ・乗降データから沿線市町、バス事業者で共有・把握し、適切な運行ルート等を検討する。 (その他) ・沿線市町、バス事業者にて協議を行い、運行ダイヤの見直しを行う。特に平日早朝及び夕方方の利用者が多いことから、通勤や通学に利用される方に配慮しながら住民の利用状況を踏まえたうえで検討を行う。 ・路線バスの優位性である、利用者のニーズに合わせたバス停の柔軟な設置を検討する。 (取組主体：月形町、岩見沢市、アオヤナギ観光バス)	若年層や高齢者層への啓発活動、適切な輸送手段の協議、乗り継ぎに配慮したバスダイヤの設定により利用者数の増加や収益増を見込む。 利用者：28,423人/年（令和6年度補助実績） 目標増加人数：1,000人（3%増） 収入増加額：360,000円（1,000人×360円） 基準：令和6年度補助実績 経常収益：10,719,563円 経常費用：34,763,264円 経常収支：▲24,043,701円 収支率：30.9% 取組目標年：令和8年度補助実績 経常収益：11,079,563円（10,719,563円+360,000円） 経常費用：34,763,264円 経常収支：▲23,683,701円 収支率：31.9%（収支改善率1.1%） ※令和6年度実績は北海道中央バス株式会社の月形線の実績、令和7年度4月より有限会社アオヤナギ観光バスの岩見沢月形線が運行する。	30.8%	-	31.9%	